日本の科学者　Vol. 58　No.7　2023 年 7 月 1 日発行　付録

ＪＳＡ神奈川支部通信

No.7 July 2023 日本科学者会議神奈川支部 発行
事務局長：〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408　飯岡ひろし
HP：https://jsa-kanagawa.jp、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：iioka408(at)gmail.com
年会費 1,0800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

◆ 九条科学者の会 2023 年 6 月講演会（オンライン開催）のお知らせ　九条科学者の会事務局
◆ 6 月 9 条学校「平和と地球を守る憲法 9 条」のお知らせ　九条かながわの会事務局
◆ 横浜ノース・ドックウォッチング＆学習会の報告　後藤仁敏
◆ 第 13 回鶴見平和フェスティバル「フラメンコと講演の集い」の報告　後藤仁敏
◆ 「コミュニティ・オーガナイジング」とは？－ Web 検索 vs chat GDP　神奈川民間懇 北山宏之
◆ 横浜ノース･ドックへの米陸軍揚陸艇部隊配備撤回を求める 3 区市民の会の活動報告　後藤仁敏

九条科学者の会 2023 年 6 月講演会（オンライン開催）のお知らせ

九条科学者の会事務局

2022 年 12 月に閣議決定された安保 3 文書は、歴代自民党政権が守ってきた「専守防衛」を投げ捨て、5 年間で 43 兆円もの防衛費により、トマホークなど長距離ミサイルや F35B 戦闘機を搭載できる空母など、攻撃型の兵器を備え、敵基地攻撃能力（反撃能力）を保有する軍事大国をめざす道を突き進むことを明らかにしました。米軍と自衛隊が一体化した全土の基地強化の実態について､お二人の講演で明らかにし､憲法 9 条を守る運動の道を探りたいと思います。

テーマ：**九条科学者の会 2023 年 6 月講演会 オンライン開催　安保三文書・実質改憲のうごきのなかですすむ日本全土の基地化**

講演１：日本の基地問題と憲法　山口真美（やまぐちなおみ）さん（弁護士､三多摩法律事務所）

中央大学法学部卒業 2001 年 10 月弁護士登録。東京都立川市の三多摩法律事務所に所属。自由法曹団常任幹事。取り扱い事件は、新横田基地爆音訴訟、過労死事件、労働事件（解雇、不払残業代請求、パワハラ等）、一般民事・家事など多数。共著に、『市民に選挙をとりもどせ』（大月出版）、『これが秘密保護法だ　全条文徹底批判』（合同出版）、『徹底解剖　イチからわかる安倍内閣の集団的自衛権』（合同出版）、ブックレット『国民投票法＝改憲手続法の「からくり」』（学習の友社）。

講演２：琉球弧の軍事要塞化と憲法　高良沙哉（たからさや）さん（沖縄大学教授、憲法学）

北九州市立大学大学院社会システム研究科修了（博士（学術））、2011 年より沖縄大学人文学部福祉文化学科教員。沖縄大学人文学部教授。専門：ジェンダー、憲法学。著書・論文に、『慰安婦問題と戦時性暴力』（法律文化社）、「琉球/沖縄差別の根底にあるものは何か」（『「沖縄問題」の本質』平和研究 54 号、2020 年 5 月）、「沖縄を舞台に進む日本の軍事化」（『琉球』号、2020 年 7 月）、「安保関連 3 文書改定と沖縄」（『法と民主主義』576 号、2023 年 2 月）。

日時：**2023 年 6 月 25 日（日）14：00～16：30**

Zoom によるリモート開催です。受付は 5 月 25 日から開始。定員 90 名、先着順。
申込み：氏名、連絡先（電話番号）を記して m2-office@9-jo-kagaku.jp にメールし、ログイン情報を受け取り下さい。
参加無料、カンパ歓迎
主催：九条科学者の会（「九条の会」アピールを広げる科学者・研究者の会）
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 HY ビル（茶州ビル）9 階
電話・Fax. 03-3811-8320 E-mail：m2-office@9-jo-kagaku.jp
ホームページ：http://www.9-jo-kagaku.jp
カンパ送り先：ゆうちょ銀行 振替口座 00100-3-50062 加入者名 九条科学者の会

6 月 9 条学校「平和と地球を守るための憲法 9 条」のお知らせ

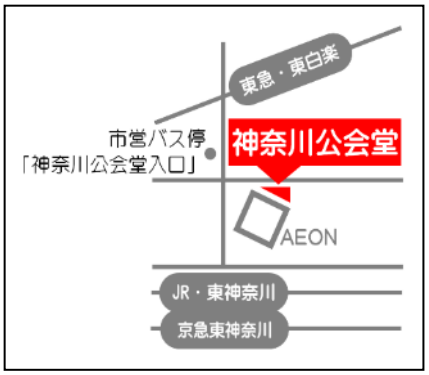
九条かながわの会事務局

岸田政権は 昨年 12 月に安保 3 文書を閣議決定し、歴代自民党政権が守ってきた専守防衛を捨て去り、憲法 9 条はおろか国連憲章にも違反する敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有を進め、防衛費を 5 年間で 43 兆円に拡大し、トマホークミサイルなど攻撃型の武器を購入し、軍事大国化をめざしています。2023 年 1 月には日米外務防衛閣僚会合で横浜ノース・ドックへの米陸軍揚陸艇部隊（13 隻、280 人）の新編に合意し、4 月 16 日から揚陸艇部隊の配備が開始されました。横浜港のど真ん中に米陸軍の攻撃拠点となる基地が建設されるのです。

また、岸田内閣は、原発汚染水の海洋放出、原発の新設、再稼働、60 年を超えての運転などの原発回帰方針も閣議決定しました。平和と環境がかってないほど脅かされています。

九条かながわの会では、下記のとおり「6 月 9 条学校」を開催し、プロダイバー歴 40 年の環境活動家・武本匡弘さんによる海と地球の平和についての講演、「再生可能エネルギー100%」と憲法 9 条を掲げて神奈川県知事選をたたかった岸牧子さんの選挙報告、星野潔さんによる横浜ノース・ドック監視行動の報告から学ぶことにしました。岡田尚事務局代表による改憲情勢の報告と行動提起もあります。ぜひご参加ください。

日時：**6 月 30 日（金）18:30～20:40**
会場：**神奈川公会堂ホール（東神奈川駅西口徒歩 5 分）**
資料代：500 円
講演：武本匡弘さん（プロダイバー、環境活動家）
「海から考える地球・環境・平和～平和と地球を守るために憲法 9 条」
オープニング：神奈川うたごえ協議会
報告：岸牧子さん（横須賀市民九条の会）「“再エネ 100%”と憲法 9 条を掲げた神奈川県知事選挙」、
星野潔さん（リムピース編集部）「横浜ノース・ドック監視行動の報告」
岡田尚さん（九条かながわの会事務局代表）：改憲情勢の報告と行動提起
主催：九条かながわの会　連絡先：後藤(090-7175-1911、goto@kd5.so-net.ne.jp)



横浜ノース・ドックウオッチングと学習会の報告

後藤仁敏

2023 年 5 月 13 日、革新懇横浜連絡会と横浜平和委員会が共催したノース・ドック（以下 ND）ウオッチングと学習会が開催され、約 40 名が参加しました。

大桟橋からノース・ドックを見る

波止場会館前に集合、歩いて大桟橋の先端に向かいました。向側が ND の岸壁でした。

田中優行さんの説明を受け、各自、望遠鏡などで観察しました。右側の先端部には、岸壁に灰色の「浮桟橋ユニット」が見えました。風車の左側の F バースには揚陸艇（図 1）が、E バースには「浮桟橋ユニット」を操作する組み立て式タグボートが見えました。

図 1 大桟橋から見たノース・ドック

B バースの高速輸送船は 5 月 11 日に那覇に向けて出港したとのことでした。左端の A バースには海洋調査船が見え、その左側には揚陸艇 2 隻とタグボートがとめられていました。

雨が強くなってきたので、観察は中止し、各自バスで学習会会場の桜木町のぴおシティ 6 階の研修室に向かいました。

ノース・ドックと安保 3 文書を学ぶ

ここでは、まず、田中さんからスライドで、ND への米陸軍揚陸艇部隊の新設の経過、配備されている艦船、最近の動きについて解説しました（図 2）。

図 2 スライドで解説する田中さん

1 月 11 日の日米安全保障協議会で、①沖縄の第 12 海兵隊を 25 年までに第 12 海兵沿岸連隊に改編する、②海上機動力を強化するために 23 年に横浜ＮＤに揚陸艇部隊（13 隻、280 人）を新編することが合意されました。この 2 つは一体のものです。

つまり、ND の揚陸艇部隊は南西諸島を含む各地に部隊と物資を迅速に運ぶための部隊です。外務省の日本語訳では「小型揚陸艇部隊」とありますが、英文では CWC（混成揚陸艇中隊）となっていて、「小型」とはなっていません。

この部隊は、必要な時に必要なだけ、どこにでも、3000～1 万人の兵士・武器・弾薬を届ける機動性・即応性・柔軟性をもつ部隊なのです。米軍だけでなく自衛隊の部隊も運ぶ訓練をしています。

ND は 1945 年に完成し、1946 年に米軍が摂取し、米軍の物資陸揚げ拠点として使用されてきました。2002 年の揚陸艇搬入の際には、米軍は艦船は燃料を抜いて保管する、運行はしないと説明しましたが、守られることはなく、今回の部隊設置となりました。

横浜港が米軍と自衛隊の出撃基地に変えられようとしています。平和な横浜港を守る運動が求められています。

続いて、横浜平和委員会の飛田久男さんが「揚陸艇部隊と安保 3 文書」について、次のように話しました。

ND は外側からでは見えにくいが、兵站の出撃拠点になっており、戦争になれば最初に攻撃を受ける危険な基地だ。

岸田内閣は昨年国会終了後の 12 月 16 日に安保 3 文書を閣議決定した。これまでの「専守防衛」を投げ捨て、長距離ミサイルなど攻撃型兵器の保有と先制攻撃も辞さないという、日本の防衛政策の大転換であるのに、国会に諮ることなく、1 月 13 日にはバイデン米大統領と会談し、共同声明としてこれを公表した。

横浜市の山中市長は「遺憾」と表明したが、神奈川県の黒岩県知事はこれを容認した。

日本の食料自給率は 38 パーセントを割り込み、エネルギー自給率に至っては 12 パーセント以下である。最大の貿易相手国は中国で輸出入とも 25 パーセントを超えている。中国と戦争になれば、国民の半数以上が飢え死にし、電気もガスもなく生活することになる。大切なのは、戦争を避けること、紛争は外交の力で解決することだ。

質疑応答の後、閉会挨拶で、神奈川県平和委員会の菊谷節夫さんが、「ND の危険性を広く知らせ、反対運動を進めよう」と呼びかけました。

第 13 回鶴見平和フェスティバル「フラメンコと講演の集い」の報告

後藤仁敏

5 月 27 日、第 13 回鶴見平和フェスティバルが鶴見公会堂ホールで開催され、190 人が参加しました。はじめに、呼びかけ人の私が以下のような開会挨拶をしました（図 1）。

開会挨拶

皆さん、こんにちは。ただいまから第 13 回鶴見平和フェスティバルを開会します。私は、弁護士の前川雄司さん、汐田総合病院院長の宮澤由美さんとともに、呼びかけ人を務めている鶴見大学の後藤と申します。鶴見大学で 39 年間、解剖学や生物学などを教えてきましたが 9 年前に退職しました。鶴見平和フェスには 15 年前、2008 年の第 1 回から呼びかけ人をしてきました。

図 1　開会挨拶する後藤

鶴見平和フェスティバルは、鶴見区内の九条の会の連絡会である「九条の会鶴見区交流センター」が中心となって実行委員会がつくられ、毎年 5 月 3 日の憲法記念日に開催してきました。10 回までは、屋根のない鶴見駅西口モール街で開催してきたために、2018 年は雨により、やむなく中止になりました。2019 年からは雨でも開催できる鶴見公会堂で開催することにしました。

ところが、2020 年から新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まり、2020 年は準備を進めましたがやむなく開催中止となり、その後もパンデミックは続き、ようやく 4 年ぶりに開催できたこと、たいへんうれしく思います。

皆さん、日本国憲法が 1947 年 5 月に施行されて 76 年が経ちました。私は 1946 年 12 月生まれですので、日本国憲法と同じ 76 歳です。私は、この 76 年間で今日ほど日本国憲法、とくにその平和主義、9 条が危うい状態に追い込まれたことはないと感じています。元内閣法制局長官の阪田雅裕さんは「世界」の 2 月号に「憲法九条の死」という文を書いています。「憲法九条が掲げた『平和主義』は 2015 年に成立したいわゆる安全保障法制によってすでに危篤状態に陥っていたが、今般の国家安全保障戦略の改定によっていよいよ最期を迎えるに至った。誕生から 75 年、人間だと後期高齢者となる憲法九条が、その歴史的な使命を終えていま、その姿を消そうとしている」とのことです。立憲主義が踏みにじられたことに対する怒りに満ちた文で、政府は憲法を守れ！ 立憲主義に立ちかえれとの心の叫びと感じました。

一方、憲法学者の樋口陽一さん（東京大学名誉教授）は、5 月 3 日の「朝日新聞」で、「9 条があったからこそ、戦後の日本がアジアの諸国に与える脅威を著しく減らし、相互軍拡の破局

に陥ることをともかくも抑止してきたということは客観的な事実として知っておくべきです」と述べ、歴史学者の加藤陽子さんが『対立する中国と米国との間に 3000km の長さにわたって(日本列島が) 位置していることは、両国の平和にとっても大きな意味がある』との言葉を引用しています。憲法 9 条をもつ日本列島が米中間の戦争を抑止してきたとのことです。9 条はすごい力をもっているのです。戦争を抑止するのは軍事力ではなく 9 条なのです。

同じく憲法学者の蟻川恒正さん（日本大学大学院教授）も同じ新聞で、憲法 9 条は「死んではいません。反古にはされましたし、反古にした政府の責任は厳しく問い続けなければなりませんが、9 条は今後、大事な役割を果していくと思います」と述べています。9 条は「自由の基盤を支えている」とし、「政権の安保政策に異を唱えた野党議員が『国民の敵』と面罵されました。戦時となればなおさらで、多くの人はひるんでしまうでしょう。9 条は、そんなひとびとの『弱い』心のかわりに存在しています。ゼロから自分の言葉で批判するのをためらう人も、9 条を盾に、『憲法の精神に立ち返ろう』と言うことができるからです」と言っています。そして、私たちが「『弱く』ても立ち上がることができるのは、9 条という見えない盾をひとりひとりが胸に構えているからです。傷だらけの盾でも、求めれば、いつでも手にすることができる。使おうと思う人がいなくなったときが、9 条の死ぬときです」と述べています。皆さん、私たちが憲法 9 条を胸に構える限り、憲法 9 条は生き続け、その力を発揮し続けるのです。

実行委員会では、このような憲法情勢を踏まえて、今回のフェスティバルでは、日本の憲法 9 条を活かした平和外交について元外交官であった孫崎享さんに「日本の軍事力拡大はアジアに平和をもたらすか～どうする日本の平和外交 私たちの命と暮らしをまもるために」について講演していただくことにしました。質疑応答の時間もとりました。また、鶴見平和フェスティバル恒例のフラメンコのダンスも鶴見区在住の野中亮子さんが代表を務めるラス・ピエドラスの皆さんにお願いしました。

今日の鶴見平和フェスティバルは、何回もの実行委員会で討議に討議を重ねて準備されたものです。昨日から、また今日も早くから準備に当たられた方々、ご協力いただいた方々に厚くお礼を申しあげます。本日は鶴見平和フェスへのご参加、まことにありがとうございました。

フラメンコと講演

鶴見在住の野中亮子さんが代表を務める「ラス・ピエドラス」の３人による、フラメンコの歌と踊り、ギター伴奏があり、迫力ある素晴らしい演技に大きな拍手がおくられました（図 2)。

図 2　フラメンコ

ついで、元外交官で東アジア共同体研究所所長の孫崎享さんが「日本の軍事力拡大はアジアに平和をもたらすかーどうする日本の平和外交 私たちの命と暮らしを守るために」と題して講演しました（図 3。）

図 3　講演する孫崎享さん

岸田政権は昨年 12 月に安保関連３文書の閣議決定をした。３文書中、国家安全保障戦略と国家防衛戦略は、敵のミサイル発射基地などをたたく反撃能力を保有することを明記している。日本多くの人はこれで日本の安全が高まったと思っているようだが、逆である。

戦争の歴史のなかで敵基地攻撃が戦術的に最も成功したのに真珠湾攻撃がある。確かに米国の戦艦、爆撃機などに多大な損傷を与えた成功はしたが、結局、日本は軍人 212 万人、民間人は 50 万人から 100 万人の死者を出し降伏した。敵基地攻撃の大成功は、日本国民の破滅につながった。敵基地攻撃だけでは優位に立てないのは今日の戦闘でも同じだ。

中国は日本を攻撃できる 2000 発以上のミサイルを配備しており、核兵器も搭載しうる。日本が今後防衛費を GDP2%にしたところで、軍事衝突では日本は必ず負ける。敵基地攻撃や反撃は必ず中国の軍事的反撃を招き、中国が日本に与える被害は、日本が中国に与える被害の何倍も

何十倍も大きい。日本が平和的な国家であるというなら、すべての国際紛争を平和で解決する努力をしなければならない。

私は、和平案として、①NATOはウクライナに拡大しない、②ウクライナの東部２州は住民の意思により帰属を決める、を示している。

2月27日のフジテレビの「日曜報道THE PRIME」で「プーチンとしては領土的野心でなく、ロシアの防衛、安全の確保という点から行動を起こしている」と発言したのは、安倍元首相であった。それが、7月8日の安倍銃殺と関係があるのでは。安倍さんは山上容疑者に殺されたのではない可能性も指摘されている。

和平を求める動きは台湾問題でも同じだ。米国も日本も中国とは台湾が中国の領土に一部であることを認めている。この合意をもとに話し合いをすべきだ。尖閣諸島問題は棚上げするという田中・周恩来会談での合意、日中漁業協定の枠組みを守ることが先決だ。

外交では、「正義」を主張するよりも「命」を重んじることが重要だ。戦うよりも妥協点を求めることが大切だ。

講演後の質疑応答でも、以下のような興味深い回答がありました。日本ほど対米従属の国はない。それは、岸信介らの戦犯が巣鴨に収容された時、命と職と引き換えに対米従属を強いられたからだ。朝鮮戦争で日本の民主主義と自由はなくなった。NHKや新聞社でも大量解雇された。以後も、それに逆らう政治家はことごとく追放された。その結果、日本は世界のどの国よりもアメリカべったりになってしまった。

閉会挨拶

最後に、五島明朗実行委員長が次のような閉会挨拶をしました(図4)。4年ぶりに鶴見平和フェスを開催できたことに感謝します。フラメンコも素晴らしく、孫崎さんの講演も熱弁で、こころに残るものになりました。平和こそ大切であることを再確認しました。九条の会鶴見区交流センターでは、大軍拡・大増税反対署名、毎月２回の駅頭宣伝、来年も第14回鶴見平和フェスを開催したいと思います。若い人の知恵とフレッシュな精神をお願いします。

図4　五島さんの閉会挨拶

写真は中島悟さんが撮影されたものを提供していただきました。厚くお礼を申しあげます。

「コミュニティ・オーガナイジング」とは？ ― Web検索　vs chat GDP

神奈川民間懇　北山宏之

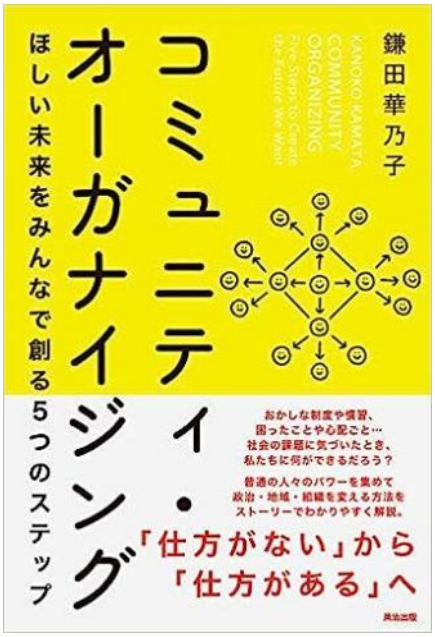
前回紹介した、５月３日神奈川公会堂で行なわれた石川康宏氏の講演「安保３文書改訂が招くもの」の当日の資料のなかの、運動論としての「発見！ 主体性の発揮できる会議と運動」についていろいろと調べてみた。その結果、「コミュニティ・オーガナイジング」という手法にたどり着いた。

まずは、情報労連のホームページの中から「コミュニティ・オーガナイジング」について以下に要約した。

――コミュニティ・オーガナイジングとは何でしょうか。

簡単に言うと、「仲間をたくさんつくって、仲間とともに行動し、変化を起こすこと」です。

――コミュニティ・オーガナイジングの手法とはどのようなものでしょうか。



体系化されたコミュニティ・オーガナイジングには、五つのステップがあります。

(1)は、「ストーリーを語ること」です。例えば、自分がなぜ労働組合活動に参加したのか。そのストーリーを相手に語ることです。それがスタートです。

次の(2)で、活動のための関係性を構築します。強い活動のためには、関係性を構築していく必要があります。そうした関係をつくるために、どんな社会をつくりたいのかなど、大きな思いや価値観を共有することが重要です。1 対 1 の対話を繰り返しながら関係性を構築していきます。

(3)は、目標を達成するためのチームづくりです。20 人の大きなチームより 5〜10 人程度の方がチームは機能します。民主的で自治ができ、多様性のあるチーム、メンバー同士が相互依存するようなチームをつくっていきます。

(4)は、組合員の抱えている困りごとをヒアリングし、1 年くらいで達成できそうなゴールを設定し、それに向かって組合員をはじめ多くの人と一緒にアクションを考えることです。設定したゴールを達成できると、自分たちには変える力があるという自己効力感がわいてきます。

(5) は、アクションです。(4)の戦略をより多くの人と実行していくということです。

――それらのステップを日本の労働組合活動に当てはめるとどう見えますか？

労働組合の皆さんのお話を聞くと、活動がトップダウンになってしまっているケースも少なくないようです。

コミュニティ・オーガナイジングは、課題の当事者を大事にし、当事者の声を聞いて、当事者とともに行動してその困りごとの解決をめざす活動を重視します。その意味では、関係構築が大切です。組合員と対話して、困っていることを吸い上げていく活動が必要かもしれません。また、運動を組織化する側も、ストーリーを語れるようになることも大切です。コミュニティ・オーガナイジングにおいて、ある課題を解決したいという人がいたら、その人がストーリーを語れるようになるまで、かなりトレーニングします。例えば、組合結成の核になる人がいたら、その人がその思いや価値観を語れるようにトレーニングしていく。さらには、組合結成をサポートする側であるオーガナイザーも自分の体験に基づくストーリーを語り、互いの経験を交換することで関係を構築していきます。

それができるようになったら、周囲の人たちに声を掛け、1 対 1 のミーティングを通じて価値観を共有していくというプロセスを踏んでいきます。活動の核になる人やサポートする側の人へのトレーニングが大事です。

（他文献による注釈：コミュニティ・オーガナイジングは普段からしていることを意図的に、効果的に行なう手法であり、それにはトレーニングが要る。日本の多くの教育課程にその機会はなく、社会に出てからも同様だ。コミュニティ・オーガナイジング・ジャパンのホームページでは、2 日間のワークショップが費用約 4 万円で紹介されている。赤旗で紹介された大阪府職労の小松康則氏はこのワークショップに参加してリーダーシップを学んだ後、コーチをしたりして組合活動にその学びを積極的に取り入れたりしてコミュニティ・オーガナイジングの実践を続けている。石川氏の講演によれば、あちこちから引っ張りだことのこと。）

――労働組合がストーリーをうまく語れていない側面がありますね。

労働組合は、労働者の人権などに関して大切な訴えをしていますが、一般論になってしまい

がちです。経験からストーリーを語る人が少ないことが、労働組合の活動が共感を呼びづらい一つの要因かもしれません。

組合役員を「指名されたから仕方なくやっている」という人もいるかもしれませんが、労働組合の活動にコミットしているからには、労働運動に対する思いが何かしらあるはずです。その原点を語り、その人の思いが伝わると、人間的なつながりが生まれるはずです。コミュニティ・オーガナイジングの指導者であるマーシャル・ガンツ氏も、戦略だけでは人はついてこないという体験をしました。やはり重要なのは、関係構築です。人がつながり、ストーリーがあふれ出てくる運動はとても強い。ストーリーや価値観を共有する人間関係の土台があってこそ、運動は強くなります。

――戦略づくりのポイントは？

目標の立て方も、ぼやっとした大きな目標では、どのようなアクションをとるべきか伝わりません。小さな目標でもいいので、まずは実際の変化を呼び起こす行動をとれるとよいでしょう。同志(課題の当事者)の持つ力をいかに引き出すか。そうした視点で戦略を考えることがポイントです。

続いて、今何かと話題のchat GPTでの質問に対する回答は以下の通り。

質問：コミュニティ・オーガナイジングの長所と欠点は？

回答：

長所:

1. 参加者の主体性と自己決定権の向上: コミュニティ・オーガナイジングは、地域の人々が自らの問題や課題に取り組むことを奨励します。参加者たちは自分たちの意見や声を主張し、意思決定に参加する機会を得ることができます。
2. 地域の結束と関係構築: コミュニティ・オーガナイジングは、地域の人々が協力し合い、共通の目標に向かって行動することを促進します。地域の結束や関係の構築を強化することで、地域全体の力を結集し、より効果的な問題解決や社会変革を実現することができます。
3. 社会的な正義と公平性の追求: コミュニティ・オーガナイジングは、社会的な不平等や差別に立ち向かうための手段となります。特に弱者やマイノリティの権利や利益を守ることに焦点を当て、社会の公正さや平等性の追求に寄与します。

欠点:

1. 参加者の負担と時間の制約: コミュニティ・オーガナイジングに参加するためには、参加者が十分な時間やエネルギーを費やす必要があります。これは、個々の参加者にとって負担となることがあります。
2. リーダーシップの不均衡: コミュニティ・オーガナイジングでは、地域のリーダーシップの育成や発掘が重要ですが、リーダーの選出や役割分担において不均衡が生じることがあります。これにより、一部の参加者が主導権を握り、他の人々の意見やニーズが適切に反映されない可能性があります。
3. 効果の不確実性: コミュニティ・オーガナイジングは、地域の問題解決や社会変革を実現する手段として有効ですが、その効果や成果が保証されるわけではありません。地域の複雑な問題に対処するためには、時間と努力が必要であり、結果が得られるまでには時間がかかることもあります。

以上が、コミュニティ・オーガナイジングの一般的な長所と欠点の例です。ただし、具体的な状況やコンテキストによっては、異なる要素や評価が生じることもあります。

それなりの要約をしているようだ。更なる追加質問として、
・欠点はもっともらしいですが、長所によって乗り越えられないでしょうか？
・確かなことは有料のワークショップなどに参加しないとわからないのでは？
に対しても当たり障りのない回答であった。省略するが興味のある方は、是非chat GPTに登録して試みられたし。(無料)
まとめ：労働組合だけでなく、市民運動などいろんな組織の活動をより活性化していく手法と受けとめた。

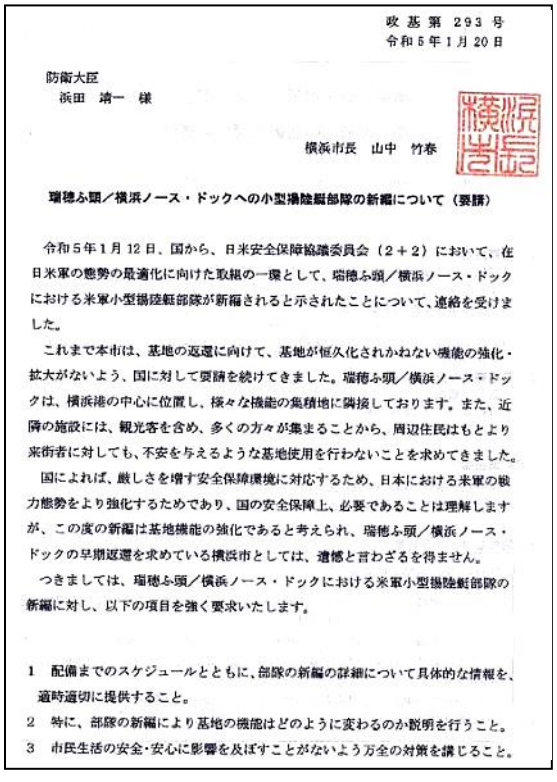
横浜ノース・ドック米陸軍揚陸艇部隊配備撤回を求める神奈川３区野党共闘を求める市民の会の活動報告

後藤仁敏

2023 年 1 月 11 日の日米外務・防衛閣僚会議（日米安全保障委員会、2＋2）で、横浜のノース・ドック（以下、ND）に米陸軍揚陸艇部隊（13 隻、約 280 名）が今年の春ごろから配備されると、防衛省から神奈川県と横浜市に伝えられました（図 1）。

図 1 横浜 ND 米陸軍揚陸艇部隊の参考資料

山中横浜市長は「遺憾」の意を表明し、防衛大臣に情報提供と説明、市民の安全・安心への対策を求めました（図 2）。一方、黒岩県知事は容認の態度で、米軍司令官と笑顔で握手していました。私は県知事選で、岸牧子候補を応援し、黒岩知事では県民の安全を守れないと訴えました。


改基第 293 号
令和５年１月 20 日

防衛大臣
浜田 靖一 様

横浜市長 山中 竹春

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの小型揚陸艇部隊の新編について（要請）

令和５年１月 12 日、国から、日米安全保障協議委員会（２＋２）において、在日米軍の態勢の最適化に向けた取組の一環として、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍小型揚陸艇部隊が新編されると示されたことについて、連絡を受けました。

これまで本市は、基地の返還に向けて、基地が恒久化されかねない機能の強化・拡大がないよう、国に対して要請を続けてきました。瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックは、横浜港の中心に位置し、様々な機能の集積地に隣接しております。また、近隣の施設には、観光客を含め、多くの方々が集まることから、周辺住民はもとより来街者に対しても、不安を与えるような基地使用を行わないことを求めてきました。

国によれば、厳しさを増す安全保障環境に対応するため、日本における米軍の抑止力態勢をより強化するためであり、国の安全保障上、必要であることは理解しますが、この度の新編は基地機能の強化であると考えられ、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックの早期返還を求めている横浜市としては、遺憾と言わざるを得ません。

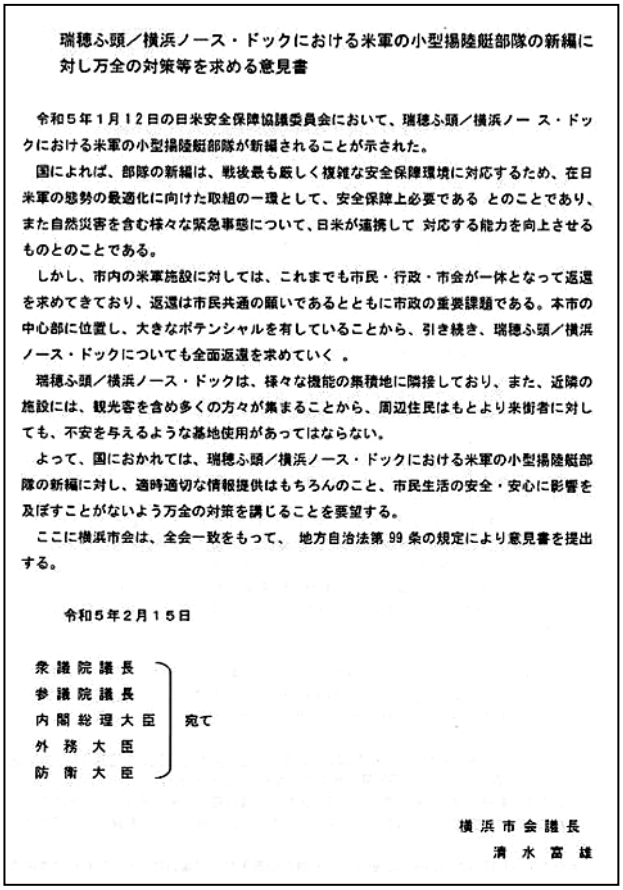
つきましては、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍小型揚陸艇部隊の新編に対し、以下の項目を強く要求いたします。

1 配備までのスケジュールとともに、部隊の新編の詳細について具体的な情報を、適時適切に提供すること。
2 特に、部隊の新編により基地の機能はどのように変わるのか説明を行うこと。
3 市民生活の安全・安心に影響を及ぼすことがないよう万全の対策を講じること。

図 2 山中市長の防衛大臣あての要請

私たち神奈川 3 区は鶴見区と神奈川区からなり、地元住民として、大きな不安に陥れられました。私自身も、2 月 2 日の明るい県政をつくる会の県政ウオッチで､飛田久男さんの案内で ND を訪れました。5 月 13 日には、平和委員会と横浜革新懇の ND ウオッチ&学習会で、大桟橋の先端から ND を観察し、田中優行さんと飛田さんから話を伺いました。横浜港のど真ん中にまさに敵基地攻撃部隊の出撃基地がつくられることに恐怖を感じました。

2 月 15 日には、横浜市会は全会一致で、「瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍の小型揚陸艇部隊の新編に対し万全の対策等を求める意見書」を衆参議長と政府に対し提出しました（図 3）。横浜市会が全会一致で出したのは大きな意味があることで、私たちを励ますことでしたが、ND 基地の「全面返還を求めていく」とはありますが、残



瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍の小型揚陸艇部隊の新編に対し万全の対策等を求める意見書

令和５年１月１２日の日米安全保障協議委員会において、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍の小型揚陸艇部隊が新編されることが示された。

国によれば、部隊の新編は、戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に対応するため、在日米軍の態勢の最適化に向けた取組の一環として、安全保障上必要である とのことであり、また自然災害を含む様々な緊急事態について、日米が連携して 対応する能力を向上させるものとのことである。

しかし、市内の米軍施設に対しては、これまでも市民・行政・市会が一体となって返還を求めてきており、返還は市民共通の願いであるとともに市政の重要課題である。本市の中心部に位置し、大きなポテンシャルを有していることから、引き続き、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックについても全面返還を求めていく 。

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックは、様々な機能の集積地に隣接しており、また、近隣の施設には、観光客を含め多くの方々が集まることから、周辺住民はもとより来街者に対しても、不安を与えるような基地使用があってはならない。

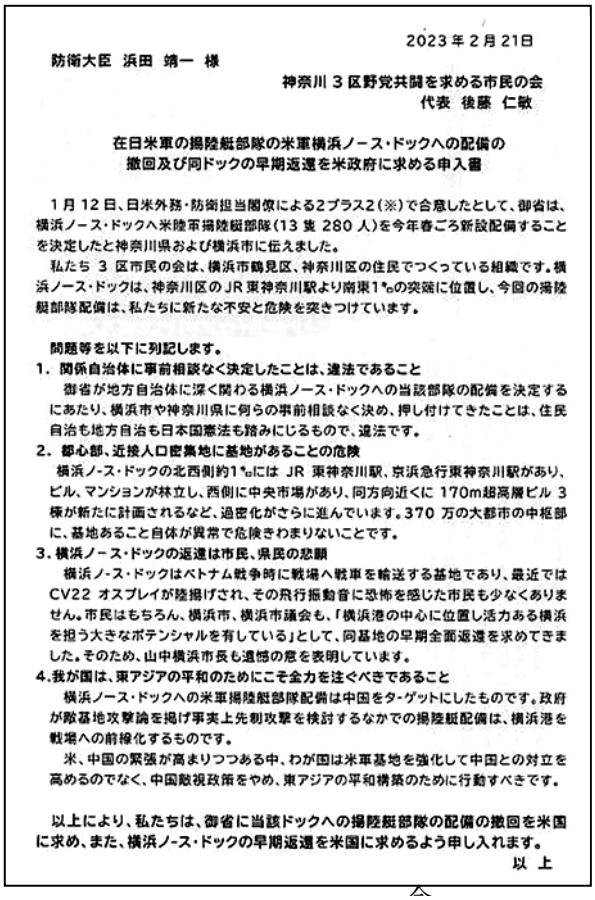
よって、国におかれては、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにおける米軍の小型揚陸艇部隊の新編に対し、適時適切な情報提供はもちろんのこと、市民生活の安全・安心に影響を及ぼすことがないよう万全の対策を講じることを要望する。

ここに横浜市会は、全会一致をもって、 地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和５年２月１５日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣
宛て

横浜市会議長
清水富雄



2023年2月21日

防衛大臣 浜田 靖一 様

神奈川３区野党共闘を求める市民の会
代表 後藤 仁敏

在日米軍の揚陸艇部隊の米軍横浜ノース・ドックへの配備の撤回及び同ドックの早期返還を米政府に求める申入書

１月12日、日米外務・防衛担当閣僚による2プラス2(※)で合意したとして、御省は、横浜ノース・ドックへ米陸軍揚陸艇部隊(13隻 280人)を今年春ごろ新設配備することを決定したと神奈川県および横浜市に伝えました。

私たち３区市民の会は、横浜市鶴見区、神奈川区の住民でつくっている組織です。横浜ノース・ドックは、神奈川区のJR東神奈川駅より南東1㌔の突端に位置し、今回の揚陸艇部隊配備は、私たちに新たな不安と危険を突きつけています。

問題等を以下に列記します。

1．関係自治体に事前相談なく決定したことは、違法であること
御省が地方自治体に深く関わる横浜ノース・ドックへの当該部隊の配備を決定するにあたり、横浜市や神奈川県に何らの事前相談なく決め、押し付けてきたことは、住民自治も地方自治も日本国憲法も踏みにじるもので、違法です。

2．都心部、近接人口密集地に基地があることの危険
横浜ノース・ドックの北西側約1㌔には JR 東神奈川駅、京浜急行東神奈川駅があり、ビル、マンションが林立し、西側に中央市場があり、同方向近くに 170m超高層ビル３棟が新たに計画されるなど、過密化がさらに進んでいます。370 万の大都市の中枢部に、基地あること自体が異常で危険きわまりないことです。

3．横浜ノース・ドックの返還は市民、県民の悲願
横浜ノース・ドックはベトナム戦争時に戦場へ戦車を輸送する基地であり、最近ではCV22 オスプレイが陸揚げされ、その飛行振動音に恐怖を感じた市民も少なくありません。市民はもちろん、横浜市、横浜市議会も、「横浜港の中心に位置し活力ある横浜を担う大きなポテンシャルを有している」として、同基地の早期全面返還を求めてきました。そのため、山中横浜市長も遺憾の意を表明しています。

4．我が国は、東アジアの平和のためにこそ全力を注ぐべきであること
横浜ノース・ドックへの米軍揚陸艇部隊配備は中国をターゲットにしたものです。政府が敵基地攻撃論を掲げ事実上先制攻撃を検討するなかでの揚陸艇配備は、横浜港を戦場への前線化するものです。
米、中国の緊張が高まりつつある中、わが国は米軍基地を強化して中国との対立を高めるのでなく、中国敵視政策をやめ、東アジアの平和構築のために行動すべきです。

以上により、私たちは、御省に当該ドックへの揚陸艇部隊の配備の撤回を米国に求め、また、横浜ノース・ドックの早期返還を米国に求めるよう申し入れます。

以 上

図３ 横浜市会の全会一致の国への意見書　　図４ ３区市民の会の防衛大臣への申入書

ながら基地配備の撤回を求めるという文はありませんでした。

神奈川３区野党共闘を求める市民の会（以下、３区市民の会）では、２月 10 日に事務局会議で、揚陸艇部隊配備撤回を求めるために、浜田防衛大臣に申入れをすることになり、２月 21 日に第二合同庁舎の南関東防衛局に行き、大江室長補佐に中原・伊藤・柴田・畑野氏らと、防衛大臣あての申入書（図４）を渡しました。

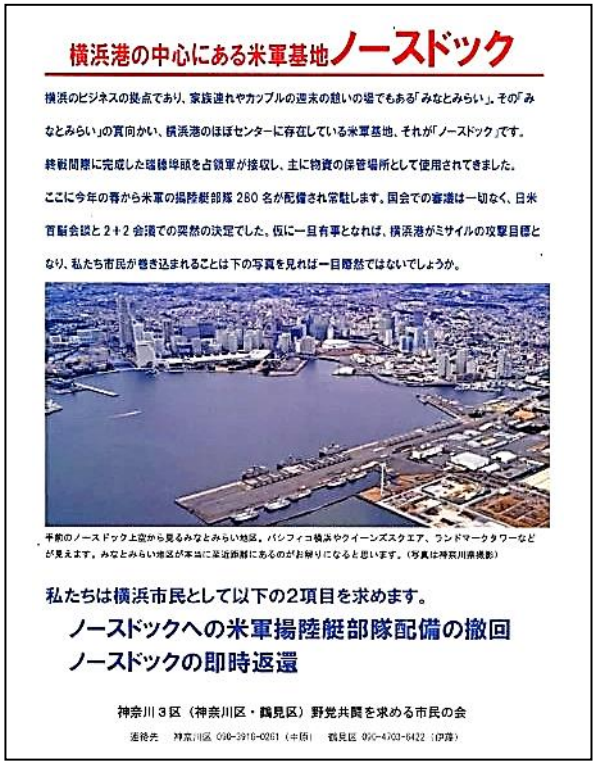
翌日の２月 22 日には県庁で、記者会見を開き、この申入書の趣旨に沿った横浜市会に対する請願書を提出するための署名運動を開始することを表明したところ、神奈川新聞が記事として報道しました（図６）。私は、カジノ誘致反対運動で最終的に住民投票を求める 19 万以上の署名を集めた時のように、基地配備撤回運動を進めたいと思わず言ってしまいました。それで、さらにこの運動にかかわることになってしまったのです。

３区市民の会では図５のようなチラシも作成して市民にこの問題を訴え、さらに３月 18 日にはND監視行動を続けている星野潔さんを招いて、神ノ木地区センターで学習会も開催しました。

署名運動と請願書の提出

その後、３区の会では鶴見駅などで署名を集める運動を行ないました。折からの統一地方選のさなかでしたが、私自身も駅頭に立ったり、会議などで署名を集めました。４月 16 日には、ND に幹部５人が常駐を始めると発表されました。これを聞いて、仲間たちが ND ゲート前で抗議しました。

４月９日の統一地方選の横浜市会議員選挙で、新しい市議会が発足し、５月 17 日から６月１日まで第１回定例会が開かれることになり、３区市民の会としては、５月 19 日に請願書を提出することにしました。



横浜港の中心にある米軍基地ノースドック

横浜のビジネスの拠点であり、家族連れやカップルの週末の憩いの場でもある「みなとみらい」。その「みなとみらい」の真向かい、横浜港のほぼセンターに存在している米軍基地、それが「ノースドック」です。

終戦間際に完成した瑞穂埠頭を占領軍が接収し、主に物資の保管場所として使用されてきました。

ここに今年の春から米軍の揚陸艇部隊 280 名が配備され常駐します。国会での審議は一切なく、日米首脳会談と 2+2 会議での突然の決定でした。仮に一旦有事となれば、横浜港がミサイルの攻撃目標となり、私たち市民が巻き込まれることは下の写真を見れば一目瞭然ではないでしょうか。

私たちは横浜市民として以下の2項目を求めます。

ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備の撤回

ノースドックの即時返還

神奈川３区（神奈川区・鶴見区）野党共闘を求める市民の会

連絡先　神奈川区 090-2916-0261（中原）　鶴見区 090-4703-6422（伊澤）

図５　３区市民の会の ND 基地撤回チラシ

ノース・ドック
米軍部隊の配備
撤回へ署名活動
横浜の市民団体

横浜市神奈川区、鶴見区の住民らでつくる市民団体が22日、県庁で会見し、横浜港の米軍施設「横浜ノース・ドック」（同市神奈川区）への米陸軍小型揚陸艇部隊の配備撤回を求める署名活動を開始すると明らかにした。３月から４月末にかけて市内全域で署名を集め、横浜市会に請願書を提出する。

横浜ノース・ドックへの米陸軍部隊配備撤回を求め、会見する市民団体のメンバー＝22日午前、県庁

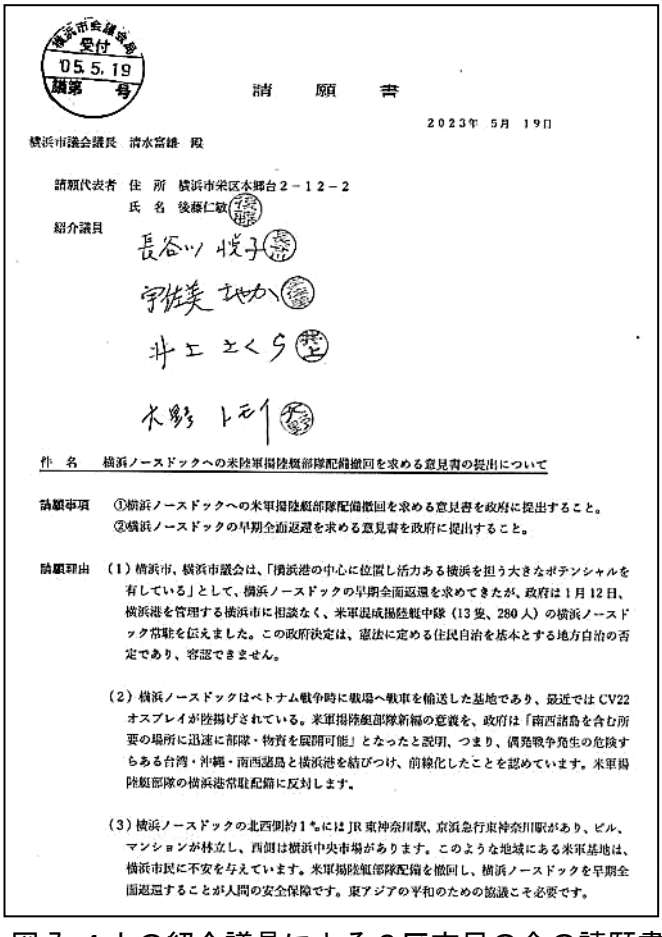
会見したのは「神奈川３区野党共闘を求める市民の会」のメンバー。横浜市会に米陸軍部隊の配備撤回を求める意見書と、横浜ノース・ドックの早期全面返還を求める意見書を政府に提出するよう請願する予定で、市民の賛同を求める。部隊配備は戦争の危機を高めるとしている。

会の共同代表を務める後藤仁敏さんは「歴代市長が全面返還を求めてきた。カジノを含む統合型リゾート施設（ＩＲ）誘致反対の署名と同じように大勢の署名を集め、部隊配備を撤回させたい」と訴えた。（川口　肇）

図６　３区市民の会を報じる２月 23 日付神奈川新聞

私たちは、全議員の賛同を得たいので、自民・公明・維新と他の無所属の議員にも賛成してほしいとの手紙を出しましたが、残念ながら自公からは返事をいただけず、維新の田中伸一氏には面会してお願いしましたが、すでに２月に全会一致で意見書を出しているので、それ以上必要ないとのことでした。太田正孝市議からは手紙で賛同できないとの返事が来ました。

中原憲一さんらの尽力で、紹介議員として、立憲民主党の長谷川悦子さん、共産党の宇佐美さやかさん、無所属の井上さくらさんと大野トモイさんの４人が名をそろえてくれることになりました。5 月 19 日、私たちは４人の議員室を回って、署名と印鑑をいただき、この日までに集まった 1161 筆の署名を添えて議会事務室に請願書（図 7）を提出しました。このことについても、神奈川新聞は記事として報道しました（図 8）。



横浜市会議会局 受付 05.5.19 請第　号

請　願　書

2023年 5月 19日

横浜市議会議長　清水富雄　殿

請願代表者　住　所　横浜市栄区本郷台２－１２－２
氏　名　後藤仁敏

紹介議員
長谷川悦子
宇佐美さやか
井上さくら
大野トモイ

件　名　横浜ノースドックへの米陸軍揚陸艇部隊配備撤回を求める意見書の提出について

請願事項　①横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める意見書を政府に提出すること。
②横浜ノースドックの早期全面返還を求める意見書を政府に提出すること。

請願理由　（１）横浜市、横浜市議会は、「横浜港の中心に位置し活力ある横浜を担う大きなポテンシャルを有している」として、横浜ノースドックの早期全面返還を求めてきたが、政府は１月12日、横浜港を管理する横浜市に相談なく、米軍混成揚陸艇中隊（13隻、280人）の横浜ノースドック常駐を伝えました。この政府決定は、憲法に定める住民自治を基本とする地方自治の否定であり、容認できません。

（２）横浜ノースドックはベトナム戦争時に戦場へ戦車を輸送した基地であり、最近ではCV22オスプレイが陸揚げされている。米軍揚陸艇部隊新編の意義を、政府は「南西諸島を含む所要の場所に迅速に部隊・物資を展開可能」となったと説明、つまり、偶発戦争発生の危険すらある台湾・沖縄・南西諸島と横浜港を結びつけ、前線化したことを認めています。米軍揚陸艇部隊の横浜港常駐配備に反対します。

（３）横浜ノースドックの北西側約１㌔には JR 東神奈川駅、京浜急行東神奈川駅があり、ビル、マンションが林立し、西側は横浜中央市場があります。このような地域にある米軍基地は、横浜市民に不安を与えています。米軍揚陸艇部隊配備を撤回し、横浜ノースドックを早期全面返還することが人間の安全保障です。東アジアの平和のための協議こそ必要です。

図７　４人の紹介議員による３区市民の会の請願書

私たちはその後も追加署名を集め、5 月 29 日に二次分として 415 筆を提出し、合計 1576 筆となりました。議会事務局で点検した結果、1500 筆が有効と認められました。

政策・総務・財政委員会での審議

私たちの請願書は、5 月 30 日の政策・総務・財政委員会で請願第 7 号、件名「瑞穂ふ頭/横浜ノース・ドックへの米軍揚陸艇部隊の配備撤回等を求める意見書の提出方について」として審議され、私たちは傍聴しました。

11 人の委員会でしたが、自民党の伊波俊之助委員は、「すでに 2 月に全会一致で返還を求める意見書を提出した。日米安全保障協議委員会で日本と米国の政府で決定されたもので、地方議会で配備を認める認めないという立場ではないので不採択とする」と発言しました。公明党の斉藤伸一副委員長も「日米政府で決定したことに横浜市会が認める認めないという立場になく、不採択」と、ほぼ同じ意見でしたが、最後に「不安に思う市民もいらっしゃるので、政策局として情報収集に努めていただきたい」と追加しました。

部隊の配備撤回を

ノース・ドック 市民団体、市会へ請願

横浜港の米軍施設「横浜ノース・ドック」（横浜市神奈川区）への米陸軍小型揚陸艇部隊の配備撤回などを求め、同区と鶴見区の住民を中心につくる市民団体が19日、請願書と署名を市会議長宛てに提出した。開会中の第2回市会定例会の常任委員会において審議される。

請願を出したのは「神奈川3区野党共闘を求める市民の会」のメンバー。部隊のノース・ドックの早期返還を求める意見書を政府に提出するよう要請する。請願に当たり、3月末から集めた1161筆の署名を添えた。審議に向け、さらに追加で署名を集めるという。

会の共同代表を務める後藤仁敏さんは「配備は一方的で、住民自治のことを何も考えていない」と批判。「市民の安全を第一に考えて審議してほしい」と話した。（加地 紗弥香）

請願書の紹介議員と意見交換する会のメンバー＝横浜市会議事堂

反撃能力保有に疑義

27日フェス 元外交官が講演

横浜 催し「鶴見平和フェスティバル」が27日、横浜市鶴見区の市鶴見公会堂で開かれる。安全保障関連3文書の改定によって明記された反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有などについて、元外交官の孫崎享氏が講演し、政府の姿勢に疑問を投げかける。

テーマは「日本の軍事力拡大はアジアに平和をもたらすのか」。反撃能力の保有や防衛費の増額に突き進む岸田文雄政権の姿勢に疑義を呈し、軍拡競争とは一線を画して平和外交に取り組む重要性を訴える。講演に先立ち、市民グループがフラメンコを披露する。

実行委員会の主催で13回目。新型コロナウイルス禍で中止が続き、4年ぶりの開催となる。午後1時半～4時。参加費500円。問い合わせは、実行委の金谷和夫事務局長☎080（3727）5352。（武田 晃裕）

図 8 ３区市民の会を報じる 5 月 20 日付神奈川新聞

立民党の大岩真善和委員は「多くの基地が返還されたがここはいまだ返還されていない。場所的にはポテンシャルの高い横浜の中心地で、多くの市民が心配している。②の早期返還は永年求めてきたことで、①も同様で、採択すべき」と発言しました。維新の柏原すぐる委員は「2 月に全会一致で全面返還を求める意見書を出している。日米決定されたもので、請願は不採択」とへ発言しました。

共産党の古谷靖彦委員は「市会議員は市民から選ばれた市民と代表として、横浜港のど真ん中での明らかな基地強化は、基地の恒常化はとても認められない。趣旨はもっともなことで採択すべき」と発言しました。

自民の伊波委員、公明の斉藤委員、維新の柏原委員は、口をそろえて「日米政府で合意したことに地方議会は認める認めないとは言えない」と地方自治を否定しましたが、立憲民主の大岩委員と共産党の古谷委員は市民の立場から請願は市民の当然の要望として採択すべきと主張しました。

結果は 11 人の委員のうち、自民 5，公明 2、維新 1 の計 8 人が不採択、立民 2、共産 1 の計 3 人の採択で、不採択とされました。この委員会の動画は以下のサイトで見ることができます。

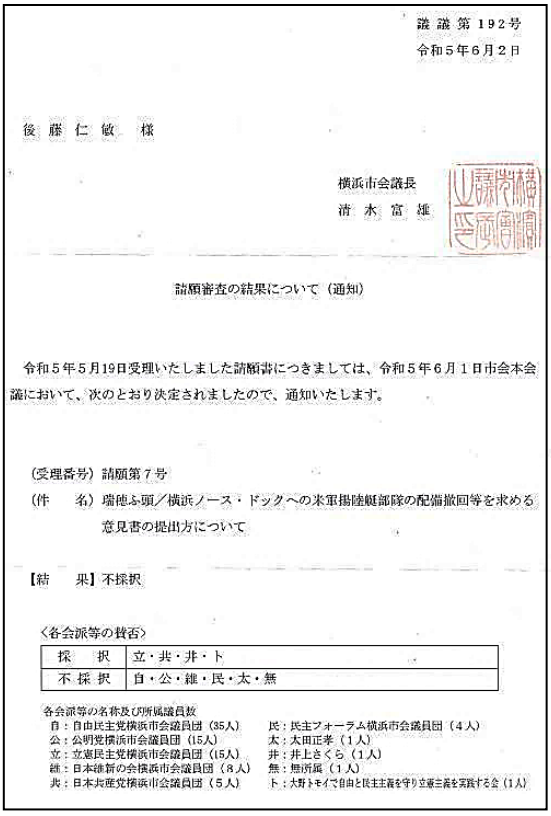
https://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp/g08_Video2_View_s.asp?kaigi=0&NitteiID=2201&SrchID=5577

横浜市会本会議での討論と議決

6 月 1 日の本会議では、共産党の大和田あきお議員が、「ND への米陸軍揚陸艇部隊の配備は基地機能を強化するもので、基地の恒久化につながり、憲法の定める地方自治にもとづき、早期返還を求めるなら請願を採択すべきだ。市民の知らない間に、ND では台湾・沖縄・南西諸島に米軍の部隊、武器、弾薬を運ぶ出撃基地化が進められている。5 月 25 日には市には連絡なく危険な CV22 オスプレイ 3 機も飛来している。市民の命と暮らしを守るために、

ND への米陸軍揚陸艇部隊の配備撤回を求めるべきだ」と不採択に反対する討論をしました。

大野トモイ議員は、「私も紹介議員として名を連ねているこの請願は、1500 人以上の市民から出されたもので、市議会に米軍揚陸艇部隊の配備撤回と早期全面返還を求める意見書の提出を求めたものです。横浜港の中心部である瑞穂ふ頭は、市の発展に大きく寄与する大きなポテンシャルをもつ場所として、横浜市は早期返還を求めてきました。5 月 25 日にオスプレイ 3 機が飛来することを市は事前に知らされていませんでした。港の管理者である横浜市を無視した米軍の横暴行為に市民は不安を感じています。市民は横浜港が戦場と直結した出撃基地となることへの市民の不安な気持ちを受け止めてほしい。地方自治法 99 条の国への意見書の提出は地方議会の重要な役割です。地方公共団体は国の下請け機関ではなく、市長・市会議員は市民から選ばれています。議場の皆さんにこの請願の不採択に反対を呼びかけます」と訴えました。



議議第192号
令和5年6月2日

後藤仁敏　様

横浜市会議長
清水富雄

請願審査の結果について（通知）

令和5年5月19日受理いたしました請願書につきましては、令和5年6月1日市会本会議において、次のとおり決定されましたので、通知いたします。

（受理番号）請願第7号
（件　名）瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックへの米軍揚陸艇部隊の配備撤回等を求める意見書の提出方について

【結　果】不採択

〈各会派等の賛否〉

採　択	立・共・井・ト
不採択	自・公・維・民・太・無

各会派等の名称及び所属議員数
自：自由民主党横浜市会議員団（35人）　民：民主フォーラム横浜市会議員団（4人）
公：公明党横浜市会議員団（15人）　太：太田正孝（1人）
立：立憲民主党横浜市会議員団（15人）　井：井上さくら（1人）
維：日本維新の会横浜市会議員団（8人）　無：無所属（1人）
共：日本共産党横浜市会議員団（5人）　ト：大野トモイで自由と民主主義を守り立憲主義を実践する会（1人）

図 9 請願審査の結果の通知

本会議での討論の録画は、以下のサイトで見ることができます。

https://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp/g07_Video_View.asp?SrchID=5581

https://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp/g07_Video_View.asp?SrchID=5583

採決では、私たちの請願第 7 号は、採択に賛成は 22（立民 15、共産 5、無所属の井上・大野）不採択に賛成 62（自民 33、公明 15、維新 8、民主フォーラム 4、無所属の太田・輿石）で否決されました（自民は 35 人ですが、清水議長は議決に加わらず、福地議員は欠席で、33 人となりました）。後日、図 9 のような結果についての通知が届きました。

私は、委員会での大岩委員と古谷委員の発言、本会議での大和田議員と大野議員の討論を聞いて、涙が出るほどうれしく思いました。一方で、自民・公明・維新の議員の発言は、憲法 95 条 地方自治の本旨も、地方自治法 99 条もまったく理解しておらず、市民によって選挙で選ばれた議員としての資格に欠けることが明らかになりました。本会議終了後、賛成してくださった会派と議員を回り、厚くお礼を申し述べました。

今後の運動

この運動はこれで終わりではありません。全県的な大きな幅広い運動が準備されていると伺っており、私たちの運動もそこに合流して行きたいと思います。カジノ反対の運動も相手はトランプ大統領、アデルソン会長、安倍晋三首相、菅義偉官房長官と強大で、永く苦しいたたかいでしたが、最後は勝利しました。米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める運動も粘り強く、進めて行き、かならず勝利したいと思います。

なお、私が事務局長を務める九条かながわの会では、6 月 30 日（金）の夜、神奈川公会堂で、6 月 9 条学校を開催しますが、そのなかでリムピース編集部の星野潔さんに「横浜ノース・ドック監視行動の報告」をしていただきます。多くの皆様がご参加くださるようお願いいたします。

行事案内

☆6月15日（木）～6月17日（土）10:00～19:00　**第28回2023平和のための戦争展 in よこはま**　展示：横浜大空襲ほか約500点　会場：かながわ県民センター1階展示場（横浜駅西口徒歩5分）　入場無料　主催：実行委員会　問合せ：090-8726-5227（吉沢さん）　後援：横浜市国際局、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、東京新聞横浜支局、tvk（テレビ神奈川）

☆6月15日（木）13:30～15:00　**第28回2023平和のための戦争展 in よこはま　戦争体験を語り継ぐ**　会場：かながわ県民センター1階102会議室（横浜駅西口徒歩5分）　金子光一さん（中区在住）「5歳の体験した横浜大空襲」、NGOグロカリー「あるY校生家族の横浜大空襲の記憶」、和田征子さん（横浜市原爆被災者の会会長）「被爆者からのメッセージ」　主催：実行委員会　問合せ：090-8726-5227　後援：横浜市国際局、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、東京新聞横浜支局、tvk（テレビ神奈川）

☆6月15日（木）17:00～19:00　**女性のためのはじめての離婚ガイド**　会場：川崎合同法律事務所（JR川崎駅徒歩8分）　講師：川口彩子弁護士　参加無料　事前予約制　申込み：044-211-0121

☆6月15日（木）18:00～　**憲法9条改憲NO!ウィメンズアクション**　女性以外の参加も大歓迎です。場所：JR有楽町駅イトシア前　主催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team

☆6月17日（土）10:30～　**韓国映画「雪道」（イ・ナジョン監督）試写会**　上映時間122分会場：玉縄学習センター地下集会室（大船駅南改札徒歩3分）　参加費無料　主催：大船九条の会　協賛：根岸線沿線九条の会（磯子地域九条の会、森九条の会、洋光台九条の会、港南台9条の会、栄区九条の会、大船九条の会）　事務局：飯田洋（0467-47-9720）　8月14日に鎌倉芸術館小ホールで午前・午後上映会の予定です。

☆6月17日（土）13:30～　**学習会：横須賀市の原子力艦事故防災対策を問う**　会場：ヴェルクよこすか3階会議室（京急横須賀中央駅下車）　講師：高野聡さん（原子力資料情報室）　主催：原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会　連絡先：046-827-2713（横須賀市民法律事務所方）

☆6月17日（土）13:30～15:30　**横須賀石炭火力発電所訴訟地域報告会「東京地裁の不当判決と今後の展望」**　会場：ヴェルグよこすか（京急横須賀中央駅徒歩5分）　小島延夫（弁護団長）「横須賀石炭火力訴訟とは」　鈴木陸郎（原告団長）のコメント　主催：ヨコスカ石炭火力訴訟弁護団　問合せ：046-847-3253（鈴木さん）

☆6月17日（土）13:30～16:00　**映画「教育と愛国」（斉加尚代監督）上映とトーク**　会場：藤沢市民会館第一展示ホール（藤沢駅南口徒歩12分）　参加費500円　主催：みんなの教育・ふじさわネット　共催：藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会　連絡先：090-9959-6398（松本）、090-2165-4038（樋浦）

☆6月17日（土）13:30～　**戦争体験を語り継ぐ**　会場：かながわ県民センター1階102会議室（横浜駅西口徒歩5分）　内容：金子光一さん「5歳の体験した横浜大空襲」、NGOグロ―カリー「あるY校生家族の横浜大空襲の記憶」、和田征子（横浜市原爆被災者の会会長）「再び被爆者をつくらないために」　主催：実行委員会　連絡先：090-8726-5227（吉沢さん）

☆6月17日（土）14:00～15:00　**横浜駅大宣伝**　場所：横浜駅出口3カ所　チラシ配布、スタンディング、リレートーク　西口（高島屋前、ダイヤモンド地下街前）　協力団体：平和委員会、新日本婦人の会、民主商工会ほか　みなみ西口（相鉄線、市営地下鉄乗り場前）　協力団体：国民救援会　東口（横浜中央郵便、ルミネ前）　協力団体：安保廃棄統一促進会議、神奈川労連ほか

☆6月17日（土）14:30～16:30　**くらしの相談センター応援コンサート**　会場：東海道かわさき宿交流館4階（JR川崎駅徒歩10分）　会費500円　出演：ザ・のんべーず　問合せ：044-246-6823

☆6月18日（日）14:00～16:00　**大学人と日本共産党のつどい**　講演：欧州左翼との交流－軍事ブロックではなく、外交で平和を　緒方靖夫（日本共産党副委員長・国際委員会責任者）　会場：日本共産党本部多目的ホール（JR代々木駅西口徒歩5分）　リアル＋オンライン開催　YouTube配信　https://www.youtube.com/watch?v=vM_sp3TEur4　申込不要・参加無料　主催：全国学者・研究者日本共産党後援会　問合せ：gakkenkai@jcp.jp（朝岡）

☆6月18日（日）14:00～16:00　**第40回草の根歯科患者塾　声楽家とともに歌い聞く－日本の童謡・唱歌－歌うことは歯と口と喉のトレーニング**　会場：あめにてぃCAFE（梨の木カフェ、水道橋駅徒歩3分、先着20名まで）　zoomなし　講師：久里きなこ氏（童謡歌手）　要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp　主催：草の根歯科研究会

☆6月18日（日）14:00～16:30　**学校統廃合について考える**　会場：平和と労働会館4階私教連会議室（桜木町駅徒歩5分）　資料代500円　講演：山本由美（和光大学教授）「学校統廃合を超えて」　報告：横浜市立斉藤分小学校統廃合問題、県立翠嵐高校定時制の募集停止問題　討論　主催：かながわ定時制・通信制・高校教育を考える懇談会　問合せ：070-1408-0802（保永さん）

☆6月19日（月）18:30～　**6・19国会議員会館前行動**　場所：衆議院第2議員会館前を中心に　共催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会／９条改憲NO！全国市民アクション

☆6月20日（火）18:30～ **軍拡増税特措法案を廃案へ！6・20行動**（予定）　場所：衆議院第2議員会館前を中心に 共催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会／９条改憲NO！全国市民アクション

☆6月22日（木）18:00～　**憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝**　場所：新宿駅 東南口　共催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会／９条改憲NO！全国市民アクション

☆6月24日（土）9:50～11:30　**ずし平和デー事前企画「海から考える地球・環境・平和」**　会場：逗子市民交流センター2階会議室（京急逗子・葉山駅徒歩2分）　講師：武本匡弘（プロダイバー）　参加費700円　事前予約制、定員80人　主催：逗子・葉山九条の会　　問合せ：046-878-6044（冨塚さん）

☆6月24日（土）14:00～17:00　**復帰50年特別番組　ドキュメンタリー映画「命（ぬち）ぬ水（みじ）～映し出された沖縄の50年」（ディレクター：ジョン・ミッチェル、島袋夏子　撮影：又吉謙　制作著作:琉球朝日放送）上映会＋トークイベント**　会場：大和市生涯学習センター610講習室（大和駅徒歩3分、シリウス6階）　ゲスト：島袋夏子さん（琉球朝日放送コンテンツビジネス部副部長）　県央の基地周辺の環境汚染状況の報告－

大和、綾瀬、座間　入場無料　主催：原子力空母の母港化に反対し基地のない神奈川をめざす県央共闘会議（046-240-7450、厚木爆同気付、090-9143-9871、矢野、macoyan@jcom.home.ne.jp）

☆6月25日（日）14:00～16:30　**九条科学者の会2023年6月講演会「安保三文書・実質改憲のうごきのなかですすむ日本全土の基地化（オンライン開催）**　講演1：山口真美さん（弁護士、三多摩法律事務所）「日本の基地問題と憲法」、講演2：高良沙哉さん（沖縄大学教授、憲法学）「琉球弧の軍事要塞化と憲法」　Zoomによるリモート開催です。受付は5月25日から開始。定員90名、先着順。申込み：氏名、連絡先（電話番号）を記してm2-office@9-jo-kagaku.jp にメールし、ログイン情報を受け取り下さい。参加無料、カンパ歓迎　主催：九条科学者の会（「九条の会」アピールを広げる科学者・研究者の会）　〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 HYビル（茶州ビル）9階　電話・Fax. 03-3811-8320　E-mail：m2-office@9-jo-kagaku.jp　ホームページ：http://www.9-jo-kagaku.jp カンパ送り先：ゆうちょ銀行 振替口座 00100-3-50062 加入者名 九条科学者の会

☆6月27日（火）18:00～21:00　**オルタナティブな日本をめざして（第87回）「入管法のどこが問題か」（福島みずほさん：新ちょぼゼミ）**　https://1drv.ms/b/s!ArtBTVAHlosVhR9nta3z70PVxK-x?e=XYFOcF　参加費（資料代含む）800円（学生400円）　講師：福島みずほさん（弁護士、参議院議員、社会民主党党首）会場：スペースたんぽぽ（高橋セーフビル1階、JR水道橋駅西口徒歩5分）予約先：tel 03-3238-9035、Email: tanpopo3238@yahoo.co.jp

☆6月30日（金）13:00～13:30事前集会　東京高裁前　13:40～傍聴券抽選見込み　14:00開廷　**福島原発かながわ訴訟第1陣第19回控訴審（結審）**　場所：東京高等裁判所101号法廷（霞が関）　終了後、報告集会：衆議院第二議員会館多目的会議室　呼びかけ：福島原発かながわ訴訟を支援する会（070-1316-4575）

☆6月30日（金）18:30～20:40　**6月9条学校　平和と地球を守るための憲法9条**　会場：神奈川公会堂ホール（東神奈川駅西口徒歩5分）　資料代500円　講演：武本匡弘さん（プロダイバー、環境活動家）「海から考える地球・環境・平和～平和と地球を守るために憲法9条」　オープニング：神奈川うたごえ協議会　報告：岸牧子さん（横須賀市民九条の会）「“再エネ100%”と憲法9条を掲げた神奈川県知事選挙」、星野潔さん（リムピース編集部）「横浜ノース・ドック監視行動の報告」　改憲情勢の報告と行動提起：岡田尚（九条かながわの会事務局代表）　主催：九条かながわの会　連絡先：後藤(090-7175-1911、goto@kd5.so-net.ne.jp)

☆7月1日（土）14:00～15:00　**マイナ保険証を強制するな!マイナンバーカードなんていらない!街頭宣伝アクション**　場所：R新宿駅南口改札前　主催：共通番号いらないネット

☆7月2日13:30～16:30　**農業政策から見た日本の農業と食料安保の課題と展望ー生産者と消費者をいかに繋ぐか**　会場：「きゅりあん」（品川区総合区民会館）中会議室大井町駅徒歩2分、〒140-0011東京都品川区東大井5-18-1）　講師：大野和興さん（農業ジャーナリスト）、天笠啓祐さん（ジャーナリスト、市民バイオテクノロジー情報室代表）　司会：島薗進さん（大正大学客員教授、東京大学名誉教授）　参加費無料（寄付歓迎）　申込み：会場、オンライン参加とも希望者は事前に申し込みください。郵便局からの寄付送金の場合　口座番号10290-70860881、他行からの寄付送金の場合：ゆうちょ銀行028 店（ゼロニハチ）普通7086088 口座名義神野玲子　事前申し込み：会場、オンライン参加とも希望者は事前に下記メールあてに必要事項明記の上、6月29日までに申し込みください。メールアドレスを間違えると届きませんので、注意ください。必要事項名前、職業、メールアドレス　申込み先:E-mail　jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから→https://forms.gle/AZRe4ZCtaDnUZxTm7　会場参加希望は32名で締め切らせていただきます。オンラインでの参加希望者への詳細案内：ZOOM参加申し込みされた方には6月29日ごろにZOOMのURL等ご案内いたします。主催：ゲノム問題検討会議 https://www.gnomeke06.net/　問合せ：神野玲子 e-mail：jreikochan@yahoo.co.jp　携帯番号090 - 2669 - 0413

☆7月2日（日）14:30～16:30　**「自衛官募集」を考える集い**　会場：相模原市立総合学習センター2階セミナールーム（JR相模原駅徒歩20分）　資料代300円　有田崇浩（日本平和委員会平和新聞編集長）「全国の自衛官募集反対の取り組み」　各地からの報告　主催：自衛官募集名簿提出問題を考える会　問合せ：090-7724-8172（菅沼さん）

☆7月2日（日）14:30～17:30　**第8回知ることで未来が見える戦争の加害パネル展プレ企画　映画上映会「隠された爪痕」（55分、呉充功監督）、「払い下げられた朝鮮人」（53分、呉充功監督）**　会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分）　入場料800円　大学生・障碍者500円、18歳未満無料　主催：記憶の継承を進める神奈川の会（090-7405-4276、hiromatu914@yahoo.co.jp）

☆7月3日（月）14:00～16:00　**上郷九条の会18周年の集い**　会場：さかえすた大会議室（本郷台駅徒歩5分）資料代500円　講演：岡田尚弁護士（九条かながわの会事務局代表）「どう止めるか日本の軍拡路線 私たちにできること」　主催：上郷九条の会　連絡先：北川倶美（045-893-4289）

☆7月5日（水）18:30～　**とっておきのステージ30周年記念　想いの届く日**　会場：横浜みなとみらいホール小ホール（みなとみらい駅徒歩3分、桜木町駅徒歩12分）　自由席3000円、指定席4000円　THE LEGEND（ザ・レジェンド）　テノール：志村糧一、吉田知明、バリトン：内田智一、ピアノ：西尾周祐　主催・チケット取り扱い：とっておきのステージ実行委員会（045-662-8148）　事務局：女性会議神奈川県本部（045-662-8148）

☆7月9日（日）14:00～16:00　**第91回草の根歯科勉強会　学問が戦争に動員されようとしている**　会場：梨の木カフェ（水道橋駅徒歩3分、会場は10名まで）　zoomあり　要申込：電話03-5340-9282、yayoiokada@pcsu.mfnet.ne.jp　講師：小寺隆幸氏（軍学共同反対連絡会議事務局長、明治学院大学国際平和研究所研究）　主催：草の根歯科研究会

☆7月10日（月）18:30～20:30　**憲法問題シンポジウム「憲法9条の現在と立憲主義」**　会場：神奈川県弁護士会館5階大会議室（みなとみらい線日本大通り駅1番出口から徒歩1分）＋WEB開催　講師：長谷部恭男さん（早稲田大学大学院教授）　申込み：①WEBでの参加希望者は次のurlから申込み下さい。https://us06web.zoom.us/webinar/rehister/WN_x9a-5VzhTGGpksRn8FSjYA#/registration、②会場参加希望者は当日直接会場にお越しください。問合せ：045-211-7705

☆7月17日（金）～20日（木）**2023神奈川ピースサイクル　ブレーキかけろ！軍拡増税再稼働憲法守って命**

と生活最優先　メインピース　17日8時に川崎市立平和館集合、出発式の後、横浜ノースドック、横浜市戦没者慰霊塔（三ッ沢公園）、厚木空神社、館野米軍機墜落犠牲者の慰霊碑、善徳寺台湾少年工慰霊碑、厚木基地申し入れ、18時から高座渋谷教会交流会、宿泊は高座渋谷教会（大和市福田）　18日8時20分高座渋谷教会出発、綾瀬・大和・座間・海老名・厚木・伊勢原・秦野市役所　宿泊は秦野市渋沢　19日9時に秦野市渋沢を出発、松田・開成・山北町役場、南足柄・小田原市役所、小田原駅新幹線口15時到着、焼津市に宿泊　19日8時に焼津を出発、20日14時に浜岡原発前に集合、申し入れ　参加費：宿泊費は、おとな2500円、学生1000円、こども1000円。交流会費は、おとな1000円、学生1000円、こども500円　神奈川ピースサイクル　呼びかけ人：新倉裕史、久保博夫、北村慈郎、番場明子、山中悦子、川端勇次、石郷岡忠男、佐藤治、日下景子）　連絡先：090-9810-0582（事務局 佐藤）

☆7月23日（日）14:00 ～16:00　**ゲノム問題検討会議Zoomセミナー ゲノム編集技術の新たな展開とヒト化動物**　講師：真下知士さん（東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野）、天笠啓祐さん（市民バイオテクノロジー情報室代表）、河田昌東さん（遺伝子組換え情報室代表）　司会:島園進さん（大正大学客員教授、東京大学名誉教授）　事前申込み：参加希望者は事前に下記メールあてに必要事項明記の上、7月21日までに申込みください。必要事項：名前、職業、メールアドレス　申込み先：E-mail jreikochan@yahoo.co.jp　またはこちらから→ https://forms.gle/ZpM761NCcK1gmSSR

☆7月26日（水）13:30～　**第26回ピースフェスタ港南**　会場：ひまわりの郷（京急・地下鉄上大岡駅直結）協力券：大人1000円、小中高生500円　講演：目加田説子（中央大学教授）「足元から考える平和」　ジャズ演奏、鍵盤ハーモニカ四重奏、童謡、唱歌　主催：実行委員会　問合せ：ユーコープ横浜南２エリア事務所（045-721-2526）、小島（080-2085-9997）

☆8月1日（火）～8月5日（土）　**第20回東アジア青少年歴史体験キャンプ　杭州で感動交流を**（募集：中学生・高校生20人（先着順）、参加費2万円）　ガイダンスと学習会は5月14日に東京労働会館地下中会議室（JR山手線大塚駅徒歩6分、地下鉄丸の内線新大塚駅徒歩7分）で開催　主催：中国　中国社会科学文献出版社、中国社会科学近代史研究所、韓国　アジアの平和と歴史教育連帯、日本　第20回東アジア青少年歴史体験キャンプ実行委員会　申込み・問合せ：子どもと教科書全国ネット21（03-3265-7606）

☆8月6日（日）～9日（水）**KANAGAWA to NAGASAKI PEACE TOUR　GOOD BYE 核兵器　いま、若い私たちにできること**　参加対象：神奈川県在住・在学の学生・高校生　スケジュール：6日、午前発・飛行機とバスで長崎へ　7日、原爆資料館見学、世界大会総会　8日、分科会（被爆者訪問、遺跡めぐりなど）　9日、閉会総会、飛行機で夜に神奈川着　引率者も同行　申込み・問合せ：原水爆禁止世界大会青年ツアー実行委員会（kanagawapeace@gmail.com

☆8月12日（土）13:30～18:30　**第18回平和の灯を！　ヤスクニの闇へ　キャンドル行動シンポジウム：東アジアを戦場にさせない！市民の戦争への駆り立てに抗する（仮）**　会場：全水道開館大会議室（ＪR水道橋駅東口徒歩3分）　パネリスト：高橋哲哉さん（東京大学大学院教授）、与那覇恵子さん（沖縄・名桜大学名誉教授）、王智明さん（台湾・中央研究院歐美所副研究員）、韓国からのゲストは依頼中　遺族の訴え：韓国、日本、沖縄の遺族など　諸団体からのアピール　コンサート　まとめ　主催：実行委員会　問合せ：peacecandle2006@yahoo.co.jp、HP http://peace-candle.net

☆8月26日（土）～9月3日（日）10:00～19:00　**第8回知ることで未来が見える戦争の加害パネル展　特集展示：関東大震災時朝鮮人虐殺**　会場：かながわ県民センター1階展示室（横浜駅西口徒歩5分）　参加無料　主催：記憶の継承を進める神奈川の会（090-7405-4276、hiromatu914@yahoo.co.jp）

☆8月26日（土）17:30～19:30　**第8回知ることで未来が見える戦争の加害パネル展　会期中企画　槇蒼宇さん（法政大学教授）講演会「関東大震災100年－朝鮮人虐殺と官民の植民地戦争経験」**　会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分）　資料代500円　主催：記憶の継承を進める神奈川の会（090-7405-4276、hiromatu914@yahoo.co.jp）

☆8 月 31 日（木）18:30～　**関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年 犠牲者追悼大会**　会場：文京シビックセンター大ホール（地下鉄後楽園駅すぐ）　主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年犠牲者追悼大会実行委員会　連絡先：080-1142-2515（関東大震災中国人受難者を追悼する会）

☆9 月 2 日（土）19:00～　**関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年 国会キャンドル集会**　場所：国会正門前　主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年犠牲者追悼大会実行委員会　連絡先：080-1142-2515（関東大震災中国人受難者を追悼する会）

☆9 月 3 日（日）17:30～　**関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年 国際交流シンポジウム**　会場：在日大韓基督教会川崎教会　テーマ：関東大震災におけるレイシズムとジェノサイド－国家の責任を問い、歴史を世界の人々と共有する為に　報告者：朝鮮半島・中国・日本の研究者、弁護士、市民活動家　主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺 100 年犠牲者追悼大会実行委員会　連絡先：080-1142-2515（関東大震災中国人受難者を追悼する会）

JSA 神奈川支部幹事会と発送作業：日時：7 月 18 日（火）15:00～16:00　会場：横浜市中区不老町 1-6-9　第１HB ビル５階 B かながわ総研の新事務所（１階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第１HB ビルの５階です。関内駅南口から徒歩 3 分)。

連絡先：飯岡ひろし（携帯：090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com）

次号の原稿の募集：5月20日に開催された第59期支部大会の報告は、8月号に掲載します。近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月10日ごろの締め切り、15日ごろの発送です。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax: 045-894-1052）